



自由提案型優良住宅部品 性能試験方法書

Methods of Testing Performance of
Quality Housing Components

衝撃緩和型畳(B L-bs)

Shock absorbing Tatami mats

BLFT ST:2020②

2020年12月1日公表・施行

一般財団法人

ニセーリビニガ

I. 性能試験項目

自由提案型優良住宅部品評価基準において、試験により性能等を確認する項目及び試験方法等は下表によるものとする。

性能試験項目名	性能試験方法	備考	頁
1. 日常的な動作時の硬さ性能	JIS A 5917 : 2018「衝撃緩和型畳床」の8.5「日常的な動作時の硬さ試験」	第三者性を有する機関等による試験の実施	—
2. 転倒時の衝撃緩和性能	JIS A 5917 : 2018「衝撃緩和型畳床」の8.6「転倒衝突時の硬さ試験」	第三者性を有する機関等による試験の実施	—
3. 局部圧縮性能	JIS A 5914 : 2018「建材畳床」の 8.7「局部圧縮試験」		—
4. 断熱性能	JIS A 1412-1 : 2016「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法—第1部：保護熱板法（GHP法）」 JIS A 1412-2 : 1999「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法—第2部：熱流計法（HFM法）」		—

II. 試験体

試験体の種別、形状、個数については性能試験方法で示すとおりとする。ただし、個数の下限は当財団の判断によるものとする。

また、試験体は認定申請時に提出された設計図書の図面、仕様書の内容と同一のものであるとし、差異のある場合は、追加試験の要請もあり得る。

III. 試験結果の提示

定量的に表示しうるものは図表化を図ること。また、外観視察については具体的に、何が、いつ、どのような状態になったのかを試験目的にそって簡潔に記述する。なお、試験体、試験装置は詳細図を、また試験結果を示すに有効な場合は写真を添付すること。